

福島市内ロータリークラブ新年合同例会 知事挨拶

新年明けましておめでとうございます。

ロータリークラブの皆様には、日頃から、地域に密着した社会奉仕活動や次代を担う青少年の健全育成活動を通して、明るく活力ある地域社会づくりに多大な御尽力を頂いており、改めて深く敬意と感謝の意を表します。

震災と原発事故から八度目の新年を迎え、県民の皆様の懸命な御努力と国内外からの温かい御支援により、福島県の復興は着実に前進しております。

去年は、ここ福島市の県営あづま球場において、東京オリンピック野球・ソフトボール競技の開幕戦開催が決定したほか、新たな交通ネットワークの整備や観光地のにぎわい回復が進み、県産日本酒が国内外で高い評価を頂くなど、明るい光が一層の強まりを見せてまいりました。

県といたしましては、引き続き、県民の皆様、そして、福島に思いを寄せてくださる多くの方々と力を合わせて、復興を更に前へと進めるとともに、本県ならではの地方創生に全力で取り組み、「生まれて良かった、住んで良かった、来て良かった」と思える県づくりに向け、挑戦を続けてまいります。

崇高なロータリーの精神の下、皆様が展開されている活動は、地域社会のつながりを深め、福島県の復興と地方創生をけん引する原動力となるものです。

今後とも、地域社会の発展のために一層お力を尽くされますとともに、更なる御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、ロータリークラブのますますの発展と、皆様の今年一年の御健勝、御活躍を心からお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。

(6 3 5 字)